

令和5年度上半期の新設住宅着工の動向について

1 要旨・目的

令和5年10月31日に国土交通省の住宅着工統計の発表があり、令和5年9月までの新設住宅着工の動向が明らかになった。

2 現状・背景

住宅着工統計は、統計法に基づく基幹統計である建築着工統計の一つとして、調査が実施されている。

3 概要

(1) 調査対象

建築基準法第15条第1項の規定による建築物を建築しようとする場合の届出にかかる建築物

(2) 調査期間

令和5年度上半期

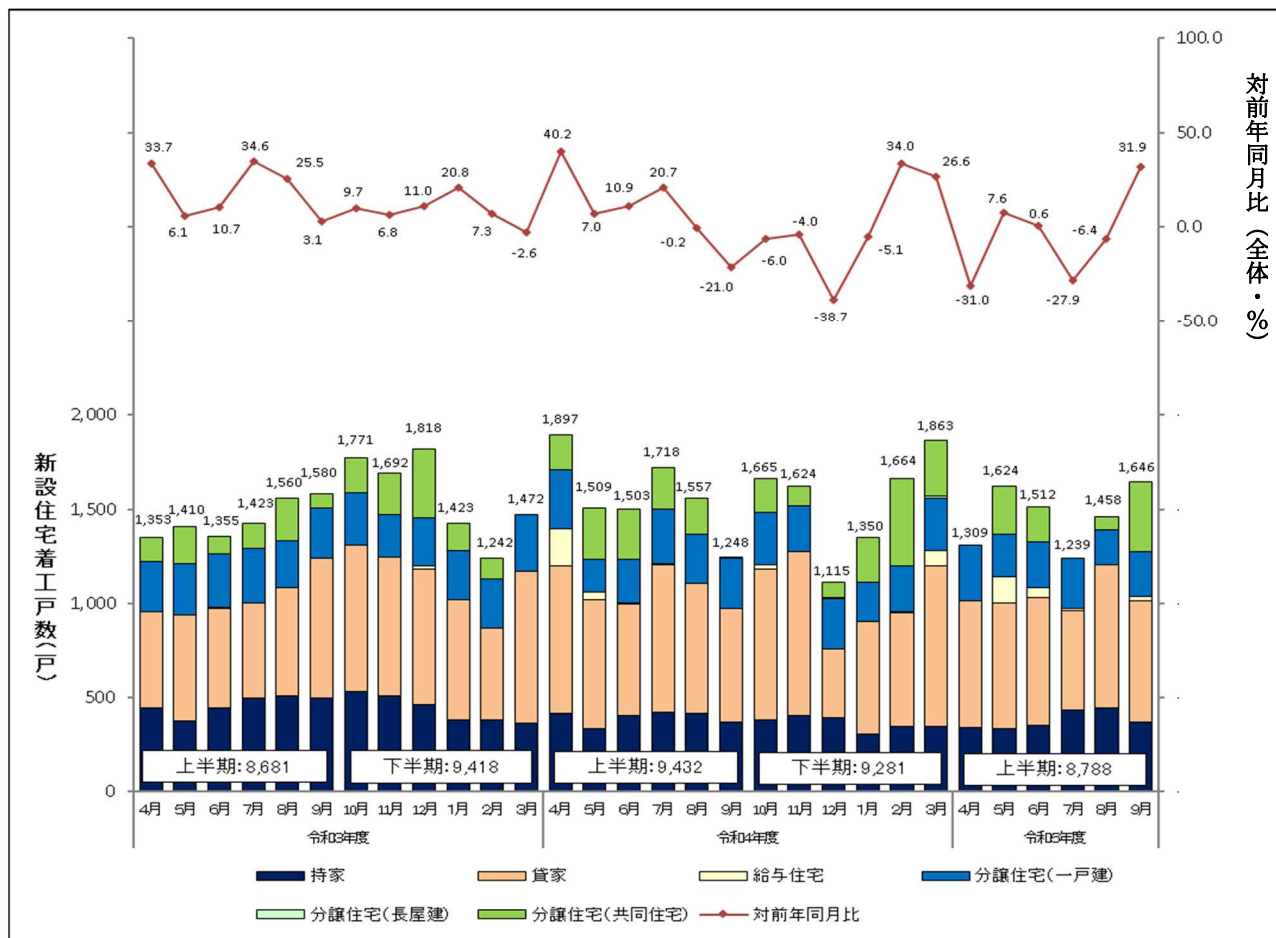
(3) 調査結果

広島県の状況

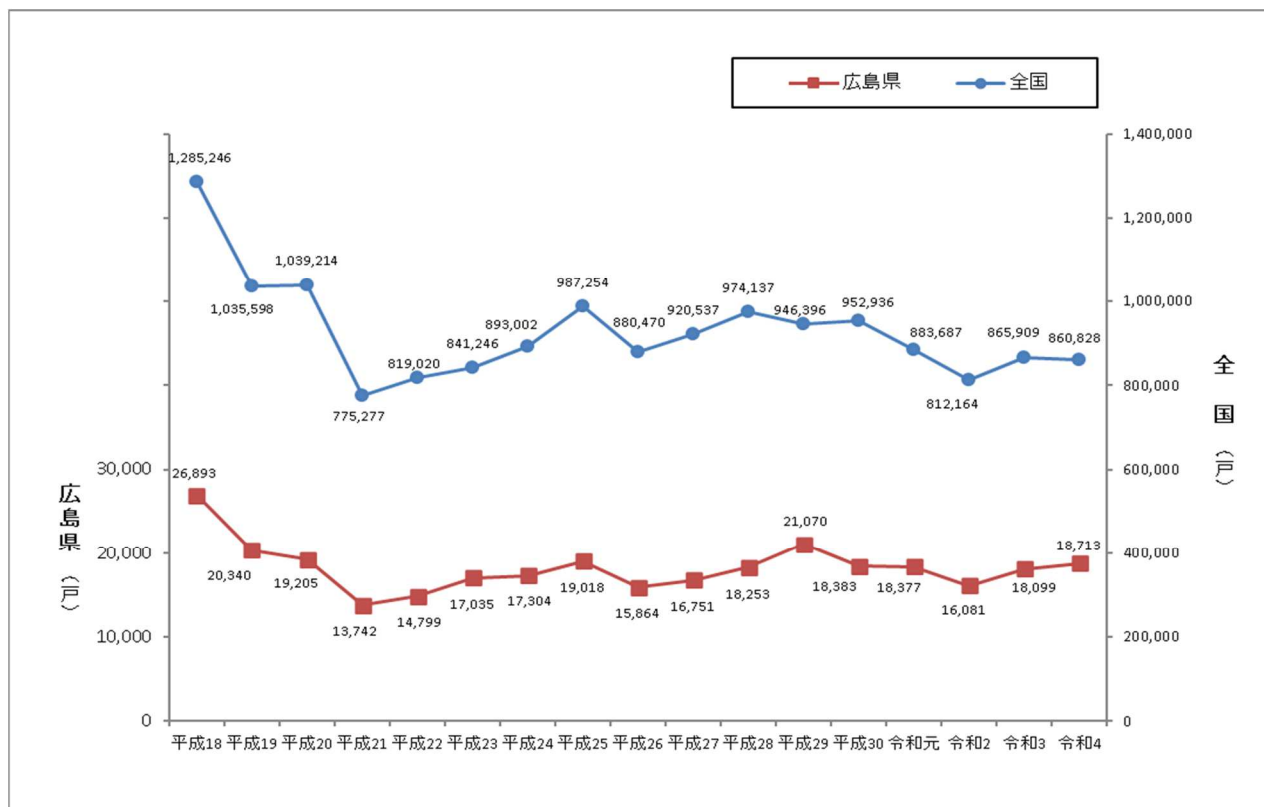
令和5年度上半期の新設住宅着工戸数 8,788戸 (対前年同期増減率 -6.8%)

令和5年度上半期	4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計
新設住宅着工戸数	1,309	1,624	1,512	1,239	1,458	1,646	8,788
対前年同月比	69.0%	107.6%	100.6%	72.1%	93.6%	131.9%	93.2%
持家	339	333	352	433	440	370	2,267
貸家	675	671	683	530	764	645	3,968
給与住宅	3	136	49	13	2	25	228
分譲住宅	292	484	428	263	252	606	2,325
一戸建	292	230	241	263	185	236	1,447
長屋建	0	0	0	0	0	0	0
共同住宅	0	254	187	0	67	370	878

○ 月別新設住宅着工戸数・対前年同月増減率（広島県）



【参考】 年度別・新設住宅着工戸数の推移（全国及び広島県）



（出典：国土交通省総合政策局情報政策課 住宅着工統計）